

社会から、お客様から、 そして社員から信頼される企業として。

企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility)が、国内でも海外でも重要視されるようになってきました。経済的な側面、環境的な側面、そして社会的側面において、企業は確かな責任を果たすことが求められているのです。シャチハタでは、環境に配慮されたモノづくりをベースに、社会から、お客様から、そして社員から信頼される企業活動を展開していきます。

「ミナミメダカを守ろう」絶滅危惧種の保全活動

「ピオトープながおか」は、稲沢市祖父江町にあるミナミメダカが生息するピオトープです。このピオトープは、木曽川からの農業用水を注水した際にメダカが自然に入りこんで定着し、現在では数千匹以上のメダカが生息している場所です。

このピオトープの環境整備を行っているのが、市民活動団体の「Longhill Net(ロングヒルネット)」です。

会員7名で構成されるこの団体は、ピオトープの注水管理や除草作業などの環境整備を行うと共に、環境学習の一環として「メダカ里親事業」を行っています。また毎年8月には「ピオトープ生きものしらべ」を開催し、地域の人々に生物多様性保全に取り組む機会を提供しています。

シャチハタは2019年から、ピオトープながおかの環境整備活動や「ピオトープ生きものしらべ」にボランティアとして参加しています。参加のきっかけは、愛知県の環境局自然環境課が主催する「生物多様性マッチングシート」という仕組みでした。県の仲介によって、地域の活動団体と企業・学校・行政とをつなげるこの仕組みを利用することで、会社の身近で行われている生物多様性保全活動に協力することができました。

ピオトープながおかの活動は2020年の「あいち・なごや生物多様性グッドプラクティス」の1つに選定され、稲沢市長による活動視察を受けるなど、地域に根差した生物多様性保全活動として認知されました。地域貢献活動として、今後も活動を続けていきます。



「ピオトープながおか」がOECD国際データベースに登録されました！

都市公園「ピオトープながおか」(祖父江町馬飼)は、NPO団体Longhill Netが清掃活動をはじめ池の管理を行っており、絶滅危惧種のミナミメダカなどが生息する池の保全活動や、希少な生物の観察会などの生物多様性保全活動が認められ、環境省の自然共生サイトとして認定されています。

そして今回、2024年8月にOECD(保護地域以外で生物多様性保全に資する地域)の国際データベースに登録されました。



ビオトープながおか 自然共生サイト認定取得

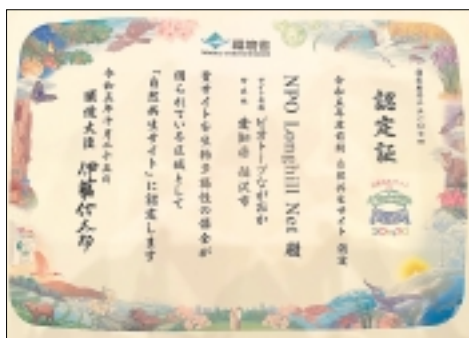
当社が参画している「ビオトープながおか」が、環境省より「自然共生サイト」の認定を取得致しました。稲沢市のビオトープを活用して行っている、ビオトープの整備や希少種の保全などの取り組みが高く評価されたものです。

現在NPOロングヒルネット様と協力して生物多様性保全活動に取り組んでいます。

「自然共生サイト」は、民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域を国が認定する制度のことで、2021年6月のG7サミットで合意された「2030年自然協約」に基づく、日本における30 by 30取組みの一環です。

この認定制度は今年度スタートした制度で、最初の自然共生サイトの一つとして認定されました。

今後も連携での取組を継続し、質の高いビオトープづくりで生態系ネットワークの一端を担いながら、稲沢市の生物多様性向上を目指し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



あいち生物多様性企業に認証されました！

この度、シャチハタは、あいち生物多様性認証企業に認証されました。

愛知県で2021年に創設された「あいち生物多様性企業認証制度」は、生物多様性保全の施策の方向性を示す戦略（「あいち生物多様性戦略2020」及び「あいち生物多様性戦略2030」）に基づいた、企業の保全活動への参画を促すインセンティブとして優良な取り組みをしている企業を愛知県が認証する制度です。

認証された理由となる当社の主な取り組みとしては、2019年から稲沢市のNPO法人ロングヒルネットと連携し、ビオトープながおか（稲沢市祖父江町）に生息する希少種のミナミメダカの保全活動を行っています。また、行政（江南市、大口町）や他企業（リンナイ様、東海理化様など）と連携して外来種のおオキナゲギクの駆除活動も行っています。

今後も持続可能な社会の実現に向けて、環境保全活動を推進していきます。

